

第29回

# 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会

2024年2月10日(土)~11日(日)

会場

北九州国際会議場 国際会議室

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

会長

神菌 淳司 (社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院)

プログラム



T. Arimatsu

# 会長挨拶

この度、第29回 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会長を拝命致しましたこと、会員の皆様には厚く御礼申し上げます。会期を2024年2月10日（土曜日）～11日（日曜日）とし、北九州市（北九州国際会議場）で開催することといたしました。学会場に於いて会員同士が直接質疑応答を行う機会も必要と考え、現地開催を予定しております。

北九州での開催は当学会前理事長の故市川光太郎八幡病院名誉院長が開催した第9回以来の二十年ぶりとなります。1980年代の北九州市立八幡病院小児科創成期から小児救急の視点から医療の隙間で行き場を無くした子どもと家族に率先して「寄り添う医療」を目指して私自身その後ろを追いかけてきました。

メインテーマを「未来に繋ぐ最後の医療」とさせていただきました。子どもの死を前にして社会制度や医療の隙間で葬られる子どもたちへの最後の医療の質の向上を目指しています。残念ながら失った子どもたちの命から得られる様々な情報からその限界を知りつつも「最後の記録（カルテ）」を書き上げ、次世代に残していく責務があります。蓄積されたこの業務は、必然的に残された家族への「寄り添う医療とは何か」の答えになると信じています。

特別講演と教育講演の講師には、九州地区のご出身の先生を中心に、北九州市立八幡病院で共に専従した同門の先生、さらに十数年来の小児救急医療関連でご指導いただいている先生に、小児突然死に関連した各々の造詣深い最新の話題をご依頼させていただきました。快くお引き受けいただいた先生と共に乳幼児の突然死のみならず幅広く小児突然死を議論できる学術集会となりました。シンポジウムでは、SIDSの診断基準の話題、乳幼児に対する法医学解剖の基礎と実践、医療的ケア児のチャイルド・デス・レビューの課題を学術集会を支える理事・評議員の先生方に企画担当させていただきました。いずれも重要なテーマであり、本邦の小児突然死医学の礎になるものと期待しております。

本学術集会が「子どもの死亡を防ぐ」事に日夜真摯に取り組んでおられる方々の研鑽の場として役立つことを心より願っております。

2024年1月吉日

社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院

**神菌 淳司**



## 学術集会 歴代会長

開催年	開催数	開催地	会 長
平成 7 年	第 1 回	東 京	仁志田博司（東京女子医科大学母子総合医療センター）
平成 8 年	第 2 回	名古屋	戸 莉 創（名古屋市立大学小児科）
平成 9 年	第 3 回	京 都	水田 隆三（京都第二赤十字病院小児科）
平成 10 年	第 4 回	東 京	高嶋 幸男（国立精神・神経センター疾病研究第二部）
平成 11 年	第 5 回	大 阪	的場 梁次（大阪大学医学部法医学）
平成 12 年	第 6 回	東 京	澤口 彰子（東京女子医科大学法医学）
平成 13 年	第 7 回	東 京	宮坂 勝之（国立小児病院麻酔集中治療科）
平成 14 年	第 8 回	大 阪	中山 雅弘（大阪府立母子保健総合医療センター検査科）
平成 15 年	第 9 回	福 岡	市川光太郎（北九州市立八幡病院救命救急センター）
平成 16 年	第 10 回	埼 玉	山南 貞夫（川口市立医療センター新生児集中治療科）
平成 17 年	第 11 回	岩 手	青木 康博（岩手医科大学法医学）
平成 18 年	第 12 回	兵 庫	中村 肇（兵庫県立こども病院）
平成 19 年	第 13 回	福 岡	高嶋 幸男（国際医療福祉大学大学院）
平成 20 年	第 14 回	岐 阜	武内 康雄（岐阜大学大学院医学研究科法医学）
平成 21 年	第 15 回	千 葉	長谷川久弥（松戸市立病院小児医療センター新生児科）
平成 22 年	第 16 回	東 京	中川 聡（国立成育医療センター手術集中治療部）
平成 23 年	第 17 回	出 雲	山口 清次（島根大学医学部小児科学教室）
平成 24 年	第 18 回	東 京	山中 龍宏（緑園こどもクリニック）
平成 25 年	第 19 回	福 岡	池田 典昭（九州大学大学院医学研究院法医学教室）
平成 26 年	第 20 回	埼 玉	加藤 稲子（埼玉医科大学総合医療センター小児科）
平成 27 年	第 21 回	長 野	小木曾嘉文（長野県立こども病院臨床検査科）
平成 28 年	第 22 回	神奈川	大澤 資樹（東海大学医学部基盤診療学系法医学）
平成 29 年	第 23 回	三 重	成田 正明（三重大学医学部再生発生医学）
平成 30 年	第 24 回	京 都	長村 敏生（京都第二赤十字病院小児科）
平成 31 年	第 25 回	岡 山	宮石 智（岡山大学大学院医歯薬学研究科法医学分野）
令和 2 年	第 26 回	東 京	河島 尚志（東京医科大学小児科） ※ Web 開催
令和 4 年	第 27 回	東 京	窪田 満（国立成育医療研究センター総合診療部） ※ Web 開催
令和 5 年	第 28 回	神 戸	上野 易弘（神戸大学大学院医学研究科法医学）

（敬称略・所属は開催時）

【今回】令和 6 年 第 29 回 福 岡 神 蘭 淳 司（聖ルチア病院）

【次回】学 会 名 第 30 回日本小児突然死予防医学会学術集会  
（旧 日本 SIDS・乳幼児突然死予防学会）

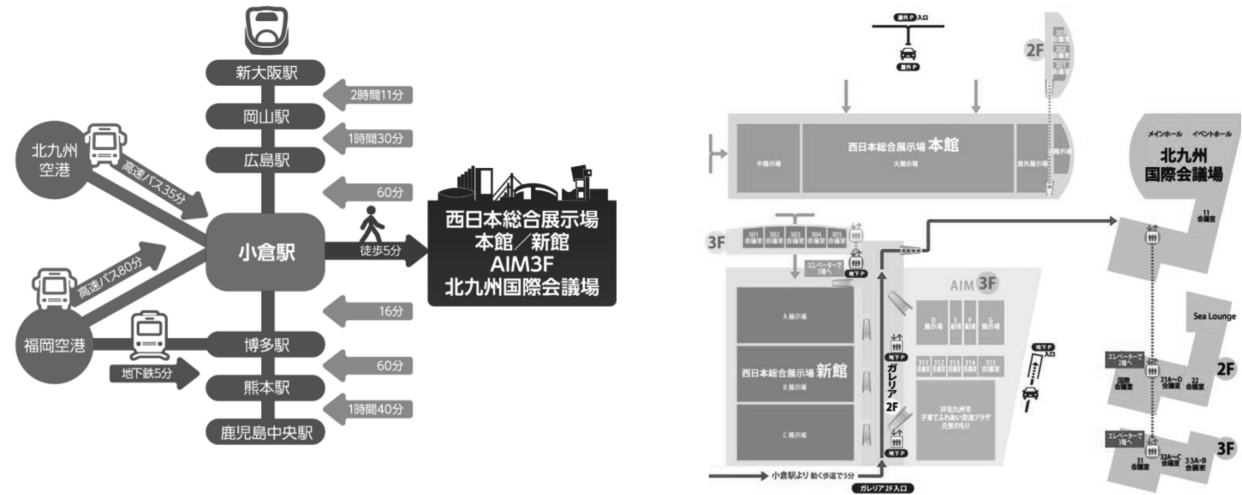
開催日時 2025 年 2 月 8 日（土）～ 9 日（日）

会 場 東京都立小児総合医療センター講堂フォレスト

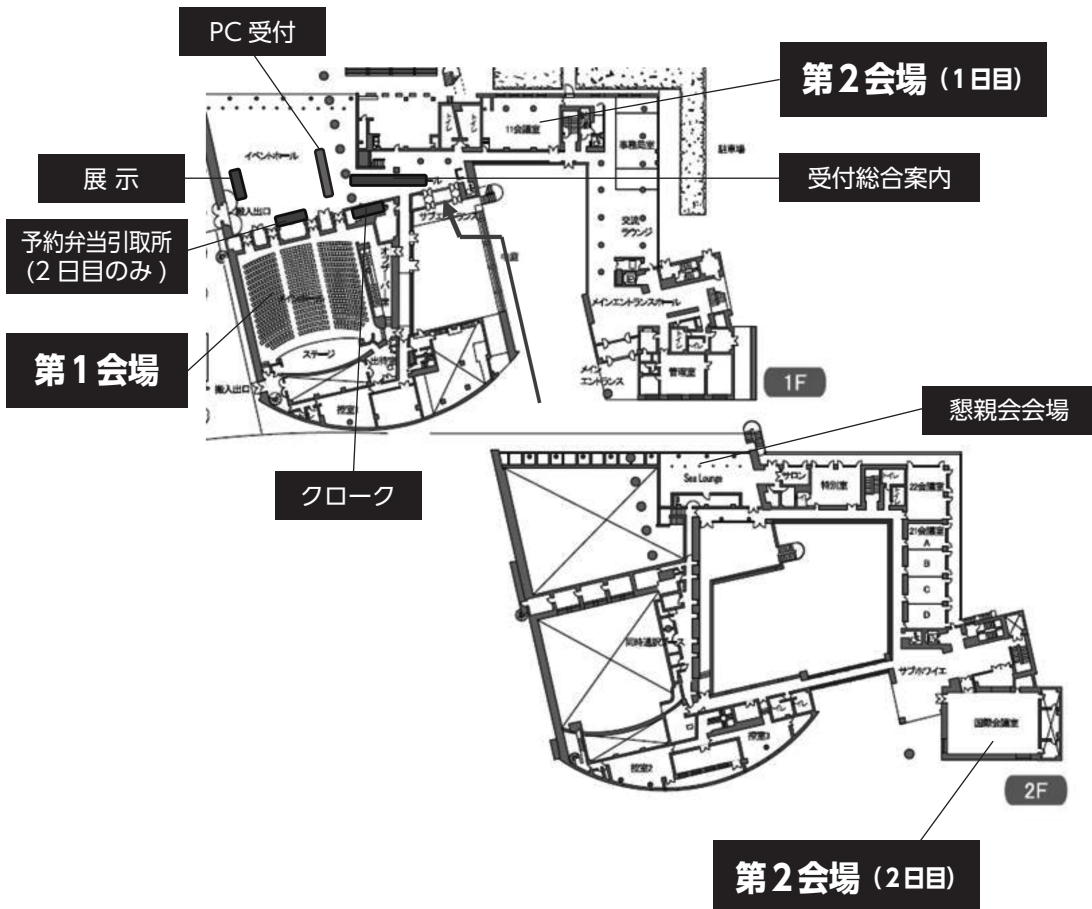
会 長 松岡 健太郎 会長（東京都立小児総合医療センター病理診断科）

## 【交通のご案内】

JR 小倉駅から徒歩 5 分



## 【会場案内】



※施設への入場はサブエントランスをご利用ください。



## 開催案内

**学会名** 第29回日本SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会

**テーマ** 未来に繋ぐ最後の医療

**会長** 神菌 淳司（社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院）

**会期** 2024年2月10日（土）～ 11日（日）  
オンデマンド配信 2024年3月1日（金）～ 2024年5月7日（火）（予定）  
※詳細は本学術集会終了後にホームページ上でご案内させていただきます。

**会場** 北九州国際会議場  
〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30  
TEL：093-541-5931

### 【委員会】

理事会	北九州国際会議場 1F 11会場	2024年2月10日（土） 9：30～10：10
評議員会	北九州国際会議場 1F メインホール	2024年2月10日（土） 10：15～10：45
会員総会	北九州国際会議場 1F メインホール	2024年2月11日（日） 11：10～12：00

### 【協賛】

北九州市、（公財）北九州観光コンベンション協会

### 【後援】

福岡県 福岡県医師会 北九州市医師会 福岡県小児科医会 福岡地区小児科医会  
北九州地区小児科医会 宗像小児科医会 筑豊小児科医会 筑後小児科医会

### 【運営事務局】

株式会社JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 CO2局 CO3課  
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35-4F  
TEL：092-751-3244 FAX：092-751-3250  
E-mail: sids29@jtbcom.co.jp

## 参加者へのご案内

受付時間：2024年2月10日（土） 9：30～17：00

2024年2月11日（日） 8：30～15：00

### 参加登録費：

参加区分	早期登録 2023年9月4日（月）～ 2023年11月30日（木）まで	後期登録 2023年12月6日（水）～ 2024年5月7日（火）まで
医師	8,000円	10,000円
医師以外	4,000円	5,000円

※参加費の税区分 会員：不課税、非会員：課税

### 症例検討委員会 事例検証への参加について：

症例検討委員会を下記日程で開催します。

突然死に関連した事例を法医学・病理学の専門家と共に詳細に振り返る事例検証会です。

#### ■症例検討委員会 事例検証 CASE1

日時 2024年2月10日 10：45～11：30 1F メインホール

#### ■症例検討委員会 事例検証 CASE2

日時 2024年2月10日 11：30～12：15 1F メインホール

参加資格：症例検討委員会への参加は「学会会員（医師）」に限ります。

参加ご希望の方は、事前に学会事務局までお申し出ください。

会員資格などについて症例検討委員長が確認を行います。

### 年会費・新入会受付について：

SIDS・乳幼児突然死予防学会ホームページをご確認ください。(https://plaza.umin.ac.jp/sids/joinus.html)

### 懇親会：

日時 2024年2月10日（土）18：20～19：20

会場 北九州国際会議場 1F SEA Lounge ※軽食をご準備します

参加費 1,000円 当日総合受付でお申し出ください。

※現金支払いのみ。お釣りの出ないようご準備下さい。

定員 60名

### 単位取得に関して：

日本法医学会法医認定医	研修記録 3単位
日本法医学会死体検案認定医	研修記録 3単位

※上記は学会に参加すれば単位が取得できます。

※対象は下記プログラムとなります。

※単位対象は現地受講のみです。オンデマンド配信視聴での単位取得はできません。

※セッション会場入場時、入場確認用紙を受け取ってください。途中入場、途中退席はできません。

教育講演Ⅱ 2024年2月10日(土) 15:00～16:00 1F メインホール  
小児の脳死下臓器提供における関係機関との連携について—不成立例の検討から  
荒木 尚 先生(埼玉県立小児医療センター 外傷診療科科長)

特別講演Ⅰ 2024年2月10日(土) 17:10～18:10 1F メインホール  
小児のてんかんと突然死の知識  
是松 聖悟 先生(埼玉医科大学総合医療センター)

特別講演Ⅱ 2024年2月11日(日) 10:00～11:00 1F メインホール  
死に至る可能性のある小児腹部救急疾患—開腹歴のない腸閉塞  
家入 里志 先生(鹿児島大学学術研究院 小児外科学分野)

教育講演Ⅴ 2024年2月11日(日) 12:10～13:10 1F メインホール  
子どもの感染症と突然死  
笠井 正志 先生(兵庫県立こども病院 感染症内科)

## 昼食：

2024年2月10日(土) 学術集会1日目は午後からの開始となりますので、昼食をお済ませの上、ご来場ください。

学術集会会場でのお弁当販売や飲食店はございません。

2024年2月11日(日) 事前にお弁当予約を受付ます。

29回学術集会ホームページよりお申込み下さい。

予約期間：2024年1月25日(木) 正午～2月1日(木) 正午まで

お弁当：1,000円(税込み・お茶付き)

※当日集金 ※お釣りの出ないようご準備下さい。

受取方法) お弁当予約完了メールのコピーをご持参、もしくはメール画面を係員にご提示ください。

引換え場所：1F メインホール前ロビー

注) 施設内にはコンビニエンスや飲食店はございませんので、お弁当を申し込まれない方は昼食をご持参頂きます様お願いいたします。

## クローク：

2024年2月10日(土) 9:30～19:00

2024年2月11日(日) 8:30～16:30

場所：北九州国際会議場 1F クローク

※貴重品はお預りできませんので、各自で管理してください。

## その他：

- ・会場内では、携帯電話をマナーモードにして下さい。
- ・会場内は全館禁煙です。
- ・会長の許可のない提示、展示、印刷物の配布、録音・録画、写真撮影は固くお断りします。



## 座長・発表者へのご案内

### 【発表者の皆様へ】

#### 講演時間：

一般演題	11分（発表7分／質疑応答4分）
教育講演Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅵ	50分
教育講演Ⅱ、Ⅴ ※小児科領域講習 単位対象講演	60分
特別講演Ⅰ、Ⅱ ※小児科領域講習 単位対象講演	60分
シンポジウムⅠ、Ⅱ	80分（各シンポジストの発表時間は座長一任）
シンポジウムⅢ	90分（各シンポジストの発表時間は座長一任）

※発表時間は時間厳守でお願い致します。

#### 1) 発表方法について

発表はPC発表のみです。発表時のPPT操作は演者各位で行ってください。

#### 2) 発表データの作成について

(1) 事務局で用意するPC (Windows) はWindows10をご用意します。

Macintoshをご利用の方はご自身のPCをご持参ください。（その際、接続ケーブルなどもお持ち込みください。）

(2) 発表スライドは16:9もしくは4:3で作成ください。（16:9を推奨します。）

(3) プレゼンテーション作成ソフトは、Windows版のPower Point (2013、2023) をご使用ください。

(4) フォントは文字化けを防ぐため、MSゴシック、MS Pゴシック、MS明朝、MS P明朝、メイリオ、Arial、Century、Times New Romanのいずれかをご使用ください。

(5) 発表データに動画や静止画、グラフ等のデータをリンクさせている場合は、元データを一緒に保存していただき、事前に動作確認をお願いします。（静止画はJPEG形式での作成を推奨します。）

(6) データはUSBメモリーでお持ち込みください。その際、最新のセキュリティソフトで、メディアにウイルスが感染していない事をご確認ください。

(7) ファイル名は「演題番号\_名前（フルネーム）」とし、演題番号は半角で入力してください。

例) 「01-1\_福岡太郎」「シンポⅠ\_博多二郎」

(8) 万が一に備え、バックアップデータを必ず持参してください。

(9) 発表者ツールは使用できません。

- 3) 発表時における利益相反 (COI) の開示について  
発表者は必ず利益相反について開示をお願いします。  
該当する COI 状態について、発表スライドの 2 枚目(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に開示してください。  
COI 自己申告基準及び、開示スライドの見本は以下の通りとなります。

第 29 回 SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会 COI 開示 発表者名： 今回の演題に関して開示すべき COI は下記のとおりです。 企業名： 役員・顧問職 A 製薬 講演料等 B 医療機器メーカー 原稿料等 C 出版社
--

第 29 回 SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会 COI 開示 発表者名： 今回の演題に関して開示すべき COI はありません。
---

- 4) 発表データの受付について
- (1) 発表の 30 分前までに PC 受付にてデータ登録と試写をおすすめください。
  - (2) データ受付時間            2024 年 2 月 10 日 (土) 9:30 ~ 19:00  
   2024 年 2 月 11 日 (日) 8:30 ~ 16:30
  - (3) データ受付場所            北九州国際会議場 1F メインホール前ロビー
  - (4) 一度受付されたデータは修正できません。  
\* お預かりした発表データは、会期終了後、学術集会事務局が責任を持って削除いたします。  
\* 音声データを使用される場合は、PC センターで受付時にオペレーターにその旨お伝えください。
- 5) 発表の 15 分前には会場内にお越し頂き、前の発表者が登壇されましたら、会場内左前方の次演者席へご着席ください。

## 【座長の皆様へ】

---

- 1) 一般演題 (口演)
  - \* 担当されるセッションの開始 10 分前までに会場前方の右側にある次座長席へご着席ください。
  - \* 口演は、1 演題 11 分 (発表 7 分、質疑応答 4 分) です。時間厳守をお願いいたします。
  - \* セッションの開始時間は繰り上げませんので、時間になりましたら開始してください。
  - \* 発表者の欠席が出た場合は、セッション内で発表を繰り上げて進行してください。
- 2) 特別講演、教育講演、シンポジウム
  - \* 各セッションの進行は、座長にお任せいたします。
  - \* 座長の方は演者・シンポジストと打ち合わせの上、時間内に終了するように進行をお願いします。

# 日程表

2月10日(土)

領域講習：日本小児科学会小児科領域講習

	第1会場 (1F メインホール)	第2会場 (1F 11 会議室)
9:30-10:10	<b>理事会</b>	
10:15-10:45	<b>評議員会</b>	
10:45-	<b>症例検討委員会</b> * 症例検討委員会は突然死に関連した事例を法医学・病理学の専門家と共に詳細に振り返る事例検証会です。参加は「学会会員(医師)」に限ります。症例検討委員会への出席を希望される方は、事前に学会事務局までお申し出ください。会員資格などについて症例検討委員長が確認を行います。 新規学会入会は HP ( <a href="https://plaza.umin.ac.jp/sids/joinus.html">https://plaza.umin.ac.jp/sids/joinus.html</a> ) をご参照ください。	
12:20-12:25	<b>開会の辞</b>	
12:30-13:25	<b>教育講演 I 乳幼児の肺発達と SIDS</b> 座長 加藤 稲子 演者 大田 千晴	
13:30-14:50	<b>シンポジウム I 乳幼児突然死診断手続き改訂に期待すること</b> (日本 SIDS・乳幼児突然死予防学会診断基準検討委員会) 座長 宮石 智/小保内 俊雅 シンポジスト 青木 康博/沼口 敦/松永 綾子/鈴木 秀人	<b>一般演題 I 事例検証</b> (O1-1 ~ O1-6) 座長 平野 慎也/小林 奈歩
15:00-16:00	<b>教育講演 II 小児の脳死下臓器提供における関係機関との連携について</b> 領域講習 座長 長村 敏生 演者 荒木 尚	
16:10-17:00	<b>教育講演 III 外傷例における血液凝固・線溶の病態について</b> 座長 神菌 淳司 演者 岡本 好司	<b>一般演題 II 院外心停止と院内体制の課題</b> (O2-1 ~ O2-4) 座長 鈴木 秀人/沼口 敦
17:10-18:10	<b>特別講演 I 小児のてんかんと突然死の知識</b> 領域講習 座長 天本 正乃 演者 是松 聖悟	
18:20-19:30	<b>懇親会</b>	

2月11日(日)

	第1会場 (1F メインホール)	第2会場 (2F 国際会議室)
9:00-9:50	<b>教育講演 IV Real World Data から眺めた救急医療と外傷死</b> 座長 松永 綾子 演者 石原 唯史	<b>一般演題 III CDR とその課題</b> (O3-1 ~ O3-4) 座長 内田 佳子/小谷 泰一
10:00-11:00	<b>特別講演 II 死に至る可能性のある小児腹部救急疾患</b> — 開腹歴のない腸閉塞 領域講習 座長 神菌 淳司 演者 家入 里志	
11:10-12:00	<b>会員総会・症例検討委員会報告/休憩</b>	
12:10-13:10	<b>教育講演 V 子どもの感染症と突然死</b> 領域講習 座長 窪田 満 演者 笠井 正志	
13:20-14:10	<b>教育講演 VI 小児循環器疾患と突然死</b> 座長 濱田 洋通 演者 山村 健一郎	<b>一般演題 IV 基礎・調査研究</b> (O4-1 ~ O4-4) 座長 森地 振一郎
14:20-15:50 (シンポジウム II は 15:40 まで)	<b>シンポジウム III 医療的ケア児の死因究明</b> 座長 沼口 敦/小谷 泰一 シンポジスト 沼口 敦/松丸 実奈/古野 憲司 内田 佳子/佐々木 理/井本 成昭	<b>シンポジウム II 乳幼児に対する法医解剖の基礎と実践</b> 座長 山本 琢磨/榎野 陽介 シンポジスト 佐藤 文子/山本 琢磨 榎野 陽介/中林 ゆき/大澤 資樹
16:00-16:05	<b>次期会長挨拶</b>	
16:05-16:10	<b>理事長挨拶</b>	
16:10-16:15	<b>閉会の辞</b>	



# プログラム

2月10日(土)

## 開会の辞

12:20～12:25 第1会場(北九州国際会議場 メインホール)

会長：神薊 淳司(社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院)

## 教育講演 I

12:30～13:25 第1会場(北九州国際会議場 メインホール)

座長：加藤 稲子(金城学院大学 看護学部医療関連研究開発部門)

### 「乳幼児の肺発達と SIDS」

○大田 千晴

東北大学大学院医学系研究科 発達環境医学分野

## シンポジウム I

13:30～14:50 第1会場(北九州国際会議場 メインホール)

(日本 SIDS・乳幼児突然死予防学会診断基準検討委員会)

座長：宮石 智(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野)

小保内 俊雅(東京都立多摩北部医療センター 小児科)

### 「乳幼児突然死診断手引き改訂に期待すること」

#### S1-1 第2版の改訂を担当した立場から、改訂第3版に期待すること

○青木 康博

名古屋市立大学大学院医学研究科 法医学分野

#### S1-2 SIDS と診断されること

○沼口 敦

名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部

#### S1-3 乳幼児突然死症候群の診断における画像検査、生化学機能検査、遺伝子検査の役割

○松永 綾子

聖マリアンナ医科大学 小児科

#### S1-4 乳幼児突然死症候群(SIDS)診断の手引き改訂に期待すること～法医学の立場から～

○鈴木 秀人

自治医科大学解剖学講座 法医学部門

座長：平野 慎也（大阪母子医療センター 新生児科）  
小林 奈歩（京都第二赤十字病院 小児科）

## 「事例検証」

### 01-1 司法解剖が遺族のグリーフケアに繋がった1例

○松尾 逸平<sup>1)</sup>、塚原 紘平<sup>1)</sup>、小原 隆史<sup>1)</sup>、宮石 智<sup>2)</sup>

1) 岡山大学病院 高度救命救急センター、2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野

### 01-2 CDRにて虫垂炎による汎発性腹膜炎が死因と考えられた、インフルエンザ陽性女児の死亡症例

○篠塚 淳、糸井 健人、西角 元一、栗国 仁志、網本 裕子、奥村 謙一

宇治徳洲会病院 小児科

### 01-3 ヒトパレコウイルス髄膜炎により無呼吸発作を呈した2例

○山田 舞<sup>1)</sup>、笹本 武明<sup>1)</sup>、新井 健人<sup>1)</sup>、南 早織<sup>1)</sup>、大岩 純平<sup>1)</sup>、市村 将<sup>1)</sup>、税所 純也<sup>1)</sup>、長尾 竜兵<sup>1)</sup>、森地 振一郎<sup>2)</sup>、山中 岳<sup>2)</sup>

1) 東京医科大学八王子医療センター 小児科、2) 東京医科大学 小児科・思春期科学分野

### 01-4 過去1年間に当院で経験した出血性ショック脳症症候群（HSES）の3症例

○落合 健太<sup>1)</sup>、清水 恭平<sup>2)</sup>、佐野 賢太郎<sup>1)</sup>、木村 翔<sup>3)</sup>、塩田 恵<sup>1)</sup>、白戸 由理<sup>1)</sup>、小俣 卓<sup>1)</sup>、安川 久美<sup>3)</sup>、高梨 潤一<sup>1)</sup>

1) 東京女子医科大学八千代医療センター 神経小児科、  
2) 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科、  
3) 東京女子医科大学八千代医療センター 小児集中治療科

### 01-5 軟骨無形成症による大後頭孔狭窄が死因に関与したと考えられた一例

○三瀨 正秀<sup>1)</sup>、神山 孝憲<sup>1)</sup>、榛葉 頼子<sup>1)</sup>、安倍 優樹<sup>1)</sup>、山下 裕美<sup>2)</sup>、村瀬 壮彦<sup>1)</sup>、池松 和哉<sup>1)</sup>

1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 法医学分野、  
2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 法歯学分野

### 01-6 在宅医療訓練退院後早期に、自宅で心肺停止し死亡した脊髄性筋萎縮症の幼児例

○吉田 峻、藤田 貴子、古賀 信彦、永光 信一郎

福岡大学病院 小児科

座長：長村 敏生（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）

## 「小児の脳死下臓器提供における関係機関との連携について」

○荒木 尚

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター／埼玉県立小児医療センター 外傷診療科

## 教育講演 III

16:10～17:00 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

座長：神菌 淳司（社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院）

### 「外傷例における血液凝固・線溶の病態について」

○岡本 好司

北九州市立八幡病院 外科／消化器・肝臓病センター

## 一般演題 II

16:10～17:00 第2会場（北九州国際会議場 11会議室）

座長：鈴木 秀人（自治医科大学 解剖学講座法医学部門）

沼口 敦（名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部）

### 「院外心停止と院内体制の課題」

#### 02-1 小児救急患者の死亡例の対応状況と課題～福岡県重篤小児患者調査から

○賀来 典之<sup>1,5)</sup>、古野 憲司<sup>2,5)</sup>、神菌 淳司<sup>3,4,5)</sup>

1) 九州大学病院 救命救急センター、2) 福岡市立こども病院 総合診療科、3) 北九州市立八幡病院、  
4) 聖ルチア病院、5) 福岡県救急医療協議会 小児救急医療専門委員会

#### 02-2 小児の院外心停止症例に対する小児集中治療医の果たす役割

○小林 匡

北九州市立八幡病院 小児救急センター

#### 02-3 当院における来院時心肺停止症例の検討

○神吉 直宙、金谷 真吾、本郷 裕斗、阪田 美穂、中川 卓、久呉 真章

姫路赤十字病院 小児科

#### 02-4 防ぎ得る死ゼロをめざして：当院の院内虐待対応チームの取り組み

○野口 佳絵<sup>1)</sup>、川崎 久美子<sup>1)</sup>、植田 啓子<sup>1)</sup>、森吉 研輔<sup>1)</sup>、松嶋 久美子<sup>2)</sup>、小林 匡<sup>3)</sup>

1) 北九州市立八幡病院 家族と子ども支援委員会、2) 北九州市立八幡病院 地域医療連携室、  
3) 北九州市立八幡病院 小児救急センター

## 特別講演 I 【小児科領域講習】

17:10～18:10 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

座長：天本 正乃（北九州市立八幡病院 小児科）

### 「小児のてんかんと突然死の知識」

○是松 聖悟

埼玉医科大学総合医療センター 小児科



2月11日(日)

教育講演 IV

9:00~9:50 第1会場(北九州国際会議場 メインホール)

座長: 松永 綾子(聖マリアンナ医科大学 小児科)

「Real World Data から眺めた救急医療と外傷死」

○石原 唯史

順天堂大学医学部附属 浦安病院 救急診療科

一般演題 III

9:00~9:50 第2会場(北九州国際会議場 国際会議室)

座長: 内田 佳子(国立成育医療研究センター 救急診療部)

小谷 泰一(三重大学大学院医学系研究科 法医学科学)

「CDR とその課題」

03-1 社会的ハイリスクで介入中に CPA で搬送され司法解剖を行った乳児の一例

○内村 絵美<sup>1)</sup>、楯 真由美<sup>2)</sup>、日高 倫子<sup>1)</sup>、黒木 亜津子<sup>2)</sup>、大平 智子<sup>1)</sup>、中谷 圭吾<sup>1)</sup>

1) 宮崎県立宮崎病院 小児科、2) 宮崎県立宮崎病院 新生児科

03-2 信仰が関与した可能性のある 10 代死亡事例 —モデル事業以外の CDR を通じて—

○齋藤 直樹<sup>1,2)</sup>、本村 あゆみ<sup>1,3)</sup>、日野 もえ子<sup>2)</sup>、千葉 文子<sup>1)</sup>、猪口 剛<sup>1)</sup>、星岡 佑美<sup>1)</sup>、  
仙田 昌義<sup>1)</sup>、石原 憲治<sup>1)</sup>、濱田 洋通<sup>2)</sup>、岩瀬 博太郎<sup>1)</sup>

1) 千葉大学大学院医学研究院附属 法医学教育研究センター、2) 千葉大学医学部附属病院 小児科、  
3) 国際医療福祉大学 法医学

03-3 非医療管理下の分娩、いわゆる産み落としによる死亡事例の検討

○千葉 文子<sup>1,2)</sup>、齋藤 直樹<sup>1,3)</sup>、猪口 剛<sup>1,2)</sup>、星岡 佑美<sup>1)</sup>、仙田 昌義<sup>1,4)</sup>、吉田 真衣子<sup>1)</sup>、  
恒矢 重毅<sup>1,2)</sup>、本村 あゆみ<sup>1,2,5)</sup>、矢島 大介<sup>1,5)</sup>、岩瀬 博太郎<sup>1,2)</sup>

1) 千葉大学医学部 法医学、2) 東京大学医学部 法医学、3) 千葉大学医学部附属病院 小児科、  
4) 国保旭中央病院、5) 国際医療福祉大学医学部 法医学

03-4 千葉大学法医学教室の未成年者解剖の傾向、司法解剖は CDR に用いる必要があるか？

○星岡 佑美<sup>1)</sup>、千葉 文子<sup>1)</sup>、齋藤 直樹<sup>1,2)</sup>、猪口 剛<sup>1)</sup>、仙田 昌義<sup>1,3)</sup>、小橋 孝介<sup>1,4)</sup>、  
三平 元<sup>1,5)</sup>、石原 憲治<sup>1)</sup>、岩瀬 博太郎<sup>1)</sup>

1) 千葉大学大学院医学研究院 法医学、2) 千葉大学医学部附属病院 小児科、  
3) 国保旭中央病院 小児科、4) 鴨川市立国保病院、5) ひがしまつど小児科

**特別講演 II 【小児科領域講習】** 10:00～11:00 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

座長：神菌 淳司（社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院）

**「死に至る可能性のある小児腹部救急疾患—開腹歴のない腸閉塞」**

○家入 里志

鹿児島大学学術研究院 小児外科学分野

**会員総会・症例検討委員会報告／休憩** 11:10～12:00 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

**教育講演 V 【小児科領域講習】** 12:10～13:10 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

座長：窪田 満（国立成育医療研究センター 総合診療部）

**「子どもの感染症と突然死」**

○笠井 正志

兵庫県立こども病院 感染症内科

**教育講演 VI** 13:20～14:10 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

座長：濱田 洋通（千葉大学大学院医学研究院 小児病態学）

**「小児循環器疾患と突然死」**

○山村 健一郎

福岡市立こども病院 循環器集中治療科

**一般演題 IV** 13:20～14:10 第2会場（北九州国際会議場 国際会議室）

座長：森地 振一郎（東京医科大学 小児科・思春期科学分野）

**「基礎・調査研究」**

**O4-1 呼吸循環生理からみた乳児の死亡**

○北島 博之<sup>1)</sup>、柳原 格<sup>1)</sup>、宮野 章<sup>2)</sup>

1) 大阪母子医療センター 研究所、2) 大阪母子医療センター 検査部

**O4-2 院外心停止症例に有用な新しいゲノムバリエント影響度評価プログラム VarMeter**

○要 匡<sup>1,2)</sup>、青木 英莉子<sup>3)</sup>、青木 大芽<sup>1)</sup>、真鍋 法義<sup>4)</sup>、古川 潤一<sup>5)</sup>、梶谷内 晶<sup>3)</sup>、井ノ口 仁一<sup>4)</sup>、木下 聖子<sup>3)</sup>、山口 芳樹<sup>4)</sup>、西原 祥子<sup>3)</sup>

1) 国立成育医療研究センター ゲノム医療研究部、

2) 国立成育医療研究センター アレルギーセンター 遺伝情報評価支援室、

3) 創価大学 糖鎖生命システム融合研究所、4) 東北医科薬科大 薬学部、

5) 名古屋大学 糖鎖生命コア研究所

### **04-3 「子どもの感染症と突然死」に対する文献的考察**

○小川 碧、笠井 正志  
兵庫県立こども病院 感染症内科

### **04-4 乳児の睡眠環境調査「ねんね 1000」プロジェクト**

○大野 美喜子<sup>1)</sup>、北村 光司<sup>1)</sup>、西田 佳史<sup>2)</sup>、山中 龍宏<sup>3)</sup>、小谷 泰一<sup>4)</sup>、小保内 俊雅<sup>5)</sup>  
1) 産業技術総合研究所、2) 東京工業大学、3) 緑園こどもクリニック、  
4) 三重大学大学院医学系研究科、5) 多摩北部医療センター

## **シンポジウム III**

14:20～15:50 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

座長：沼口 敦（名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部）  
小谷 泰一（三重大学大学院医学系研究科 法医学科学分野）

### **「医療的ケア児の死因究明」**

#### **S3-1 医療的ケア児とは**

○沼口 敦  
名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部

#### **S3-2 医療的ケア児と過ごすかけがえのない日々**

○松丸 実奈  
NPO 法人にこり、はぐむのあかりクリニック

#### **S3-3 病院主治医と在宅医の狭間で**

○古野 憲司  
福岡市立こども病院 総合診療科

#### **S3-4 医療的ケア児の急変に接する**

○内田 佳子  
国立成育医療研究センター 救急科

#### **S3-5 CDR での個別検証・概観検証からみた医療的ケア児の死因究明**

○佐々木 理  
天使病院 小児科

#### **S3-6 予防のためのこどもの死亡検証 (Child Death Review) に関する国の取り組みについて**

○井本 成昭  
こども家庭庁 母子保健課



座長：山本 琢磨（兵庫医科大学 法医学講座）  
榎野 陽介（東京大学大学院医学系研究科 法医学教室）

**「乳幼児に対する法医解剖の基礎と実践」****S2-1 乳幼児剖検例における免疫組織化学を用いた病原体検索の実際**

○佐藤 文子  
北里大学医学部 法医学

**S2-2 乳幼児に対する法医解剖の基礎と実践**

○山本 琢磨  
兵庫医科大学 法医学

**S2-3 乳幼児に対する法医解剖前画像検査の基礎と実践**

○榎野 陽介  
東京大学大学院医学系研究科 法医学

**S2-4 法医学におけるこどもの急性薬毒物中毒**

○中林 ゆき  
愛媛大学大学院医学系研究科 法医学講座

**S2-5 調査研究への警察情報の利用**

○大澤 資樹  
東海大学医学部基盤診療学系 法医学

**次期会長挨拶**

16:00～16:05 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

次期会長：松岡 健太郎（東京都立小児総合医療センター 病理診断科）

**理事長挨拶**

16:05～16:10 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

理事長：長村 敏生（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）

**閉会の辞**

16:10～16:15 第1会場（北九州国際会議場 メインホール）

会長：神菌 淳司（社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院）